

【2024年度】
ユニファイド
スクール
事業報告書

公益財団法人スペシャルオリンピックス日本

**Special
Olympics**
Nippon



Special Olympics
Unified Schools





スペシャルオリンピックス(SO)とは

知的障害のある人達に、日常的なスポーツトレーニングとその成果の発表の場である競技会を提供する国際的なスポーツ組織です。

ユニファイドスポーツ®(Unified Sports®)とは

知的障害のある人(アスリート)と知的障害のない人(パートナー)がチームメイトとなり、一緒にスポーツをする、SO独自の取り組みです。



ユニファイドスクールとは

小学校から大学までの学校と連携し、ユニファイドスポーツ®の機会を学生や学校関係者に提供することで、スポーツを通じて知的障害のある人となない人が、お互いの理解を深めること、またその結果として社会的インクルージョンを促進させることを目的として立ち上げた取り組みです。



授業構成モデル 単元の流れ (全10~15時間)

1~3 時間目

ユニファイドスポーツ®体験

ユニファイドスポーツ®の例 フロアボール、バスケットボール、サッカー等

ユニファイド
スポーツ®体験と
SOの学習は
どちらが先でも
OK!

4~5 時間目

SOの学習

SOの取り組みについて学ぶ 個人スキルコンテスト、
ディビジョニング、全員表彰、ユニファイドスポーツ® など

- スペシャルオリンピックス日本(SON)職員による授業
- SON地区組織で活動するコーチ、アスリート、パートナーによる講演等

6~7 時間目

ルール・場の工夫

SOの取り組みを参考に、みんなが楽しめるスポーツの形を考えよう

8~9 時間目

みんなでスポーツを楽しもう

6~7 時間目で考えた形を試してみよう

- ディビジョニングの実施
- オリジナルの個人スキルコンテスト
- 他学年との交流会など、
最終授業は学校やクラスにより様々

10 時間目

振り返り

ルールや場を工夫することで、
楽しめる人が
増えるということに気づく

体育、総合的な学習の時間、道徳、国語、生活など、
複数の教科にまたがった総合的な指導が可能

CONTENTS

- ▶ 小学校でのユニファイドスクール〈愛知県豊田市3校での取り組み〉 — 4
- ▶ 中京大学 来田ゼミの歩み — 6
- ▶ 継続的なユニファイドスクール〈長野県駒ヶ根市立中沢小学校〉 — 8
- ▶ SO School Days〈名寄市立大学SOサークルとの取り組み〉 — 9
- ▶ 順天堂大学学生のプログラム参加〈SON・千葉との取り組み〉 — 10

》小学校でのユニファイドスクール

〈愛知県豊田市3校での取り組み〉

スペシャルオリンピックス日本（SON）は、2024年度、中京大学やトヨタ自動車株式会社、豊田市スポーツ振興課と連携し、愛知県豊田市の小学校3校でユニファイドスクールを実施、合計337名の児童の皆さんにご参加いただきました。



冷田小学校

根川小学校

野見小学校

みんなが楽しめる
「個人スキルコンテスト」の
種目を考えよう！

下級生と一緒に
フロアボールを楽しむ
方法を考えよう！

「勝ち負けにこだわってしまい、
みんなでスポーツを楽しめない」
という学級の課題を解決したい！

豊田市立 冷田小学校

冷田小学校からは、3年生の皆さんがユニファイドスクールに取り組んでくれました。児童たち自身が楽しく行うことができたフロアボールを、「困る人、楽しめない人、不安な人がいた際にどうしたら一緒に楽しめるか」という視点を持ち、児童一人一人が、それぞれの個人スキルコンテスト[※]の種目を考えてくれました。

個人スキルコンテストの発表の日には、SONドリームサポーターの寺尾悟氏が参加し、児童たちが考えた種目を体験。どの種目も、参加者が難易度を選ぶよう工夫されていました。



※個人スキルコンテスト(ISC)とは？

障害の程度や競技能力にかかわらず、より多くの人々がトレーニングや競技に参加できるように、SOでは個人技能競技等の種目が設けられています。ISCでは、シュートの正確性やドリブルのスピードを競う種目などがあります。

豊田市立 根川小学校

根川小学校からは、4・5・6年生がユニファイドスクールに参加。単元の最後には、各学年が下級生にフロアボールを楽しんでもらう交流会を企画しました。交流会では、自分たちが学習したSOのことを下級生に伝える様子や、下級生が楽しめるよう場を工夫する様子を見ることができました。最後は手作りのメダルを下級生全員にプレゼント。みんなが楽しく嬉しい気持ちで終われた交流会となりました。

単元中にはSONドリームサポーターの小塚崇彦氏、SON・愛知アスリートの平本氏とコーチの本多氏の3名がゲストスピーカーとして根川小学校を訪問し、SOで実施されている様々な競技やSOの魅力について、児童237名とその保護者に向けてお話しくださしました。



豊田市立 野見小学校

野見小学校からは、4年生の2クラスがユニファイドスクールに参加。ユニファイドスクール以前に行った学習で、「ルールを工夫する」ということに取り組んできましたが、勝ち負けにこだわるがゆえに、みんなでスポーツを楽しむことができないという学級の課題がありました。SOについて学んだ児童たちは、SOの取り組みにある「ディビジョニング[※]」と「全員表彰[※]」を実施してみることに。「ゲーム後に相手の良かったところを言い合うことで、勝っても負けてもお互い頑張ったことをほめ合うことの楽しさを知ることができました。」（担任の先生より）

事後アンケートでは96%の児童が「ディビジョニングがあって良かった」と回答し、その回答通り、ゲーム中では普段運動に積極的で無い児童も、コート上を走り回る姿が見受けられました。



※ディビジョニングとは？

SOの競技会では、可能な限り同程度の競技能力のアスリート・パートナーが競技できるように、性別、年齢、競技能力などによってクラス（ディビジョン）分けを行います。このディビジョニングによって、自分の現在の能力を十分に発揮し、一番輝く機会を得られると考えています。

※全員表彰とは？

SOでは、頑張った全てのアスリート・パートナーを称え全員を表彰します。順位だけでなく、競技場に立ち最後まで競技をやり終えた事に対して、一人一人にかわらぬ拍手が贈られます。

アンケート調査結果

ユニファイドスクール単元実施前と実施後にアンケート調査を実施し（n=266）下記7項目において有意な向上・低下が認められました。

有意な向上が認められた質問項目

- 運動をするのは楽しいです。
- チームスポーツは楽しいです。
- できなくてもチャレンジするのはおもしろいです。
- 運動がうまくいかないとき、友だちが助けてくれます。
- 自分ががんばると、友だちはほめてくれます。
- 自分が失敗しても、友だちははげましてくれます。

有意な低下が認められた項目

- 失敗の多い人はもっと練習すべきだと思います。

友だちとの関わりの中で、友だちからの助けや励ましに対する認識が向上したことにより、運動やチームスポーツの楽しさ、また挑戦することへの前向きな気持ちが高まったと考えられます。また、「失敗の多い人はもっと練習すべきだと思います」という項目が有意に低下したことから、児童たちは、上手くできない友だちがいても、ルールや方法を工夫することで一緒に楽しむことができると感じた可能性が示唆されます。

児童からの声

[質問]

ユニファイドスクールで学習したことを、
今後どのように生かせそうですか

みんなと協力して、ルールややり方を工夫したら、みんな
楽しめるということを知れた。なので、これから学校生活の中
は、かわらぬなどで工夫して、みんなを楽しめるようにしたい。

もともとそんなにスポーツをやらなかったけど、いろいろ教えてもらったので、
障害があっても、みんなと一緒に楽しみたいと思います。

いじめの対策と同じように、いじめを減らすように、今までは、いじめ
の対策に下手な人がいたら、いろいろして、いじめを減らすように
して、これからは、いろいろな実力の人がいて、それぞれ
でいいことを生かそうです。

先生方からの声

〈本単元の良かった点や成果〉

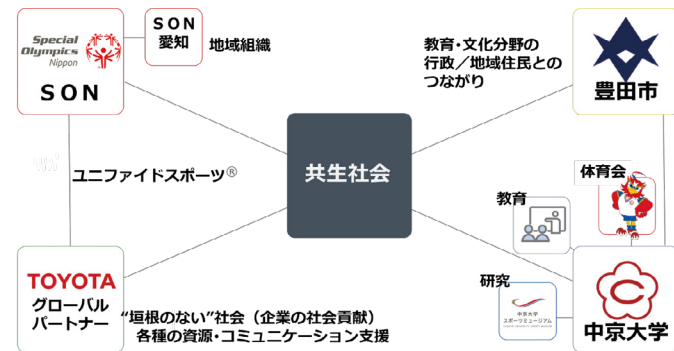
ゲストスピーカーの方に直接お話を聞けたことがよかった。本人の言葉には説得力があり、子どもたちにも伝わったと感じた。

単元前は、自分の考えに固執し、人の意見を受け入れることが難しかった子や勝ち負けにこだわり人を責めたり暴言を吐いたりする子、ルールにこだわり少しでも間違えると責める子がいたが、単元後は、人それぞれ考えやできることは違うと認められるようになったり、勝っても負けてもお互い頑張ったことを褒め合ったりできるようになった。

（ユニファイドスクールとして10時間以上取ったからこそ）子どもたちが問題解決に動き出すことができた。10時間続けて学習することで、生まれた課題に向かっていけるため、身につく学びとなった。1時間ほどの学びだとそれは難しいと思う。

中京大学 来田ゼミの歩み

2022年にSONと包括連携協定を締結した中京大学とは、教育・研究・スポーツ分野を通じた共生社会の実現をめざし、パートナー企業であるトヨタ自動車株式会社や、豊田市と連携し、産官学民連携をテーマとした取り組みを実施しています。ユニファイドスクールにおいては、年間を通して来田ゼミの学生たちが、ゼミの中でSOについて学び、学期の終盤には小学校での授業を担当しました。



私たちの活動 | ここからは、来田ゼミの学生による体験をもとにした視点での記述となります。

4月&5月 キックオフミーティング

SON職員と来田ゼミの学生の初顔合わせであるキックオフミーティングを行いました。SONの活動や、小学校でのユニファイドスクールについての実践報告、また一人一人の自己紹介などを行いました。SON平岡拓晃理事長（2012年ロンドンオリンピック柔道男子60キロ級銀メダル）からは、柔道での経験やSOの魅力、SON理事長に就任したきっかけについて伺いました。



5月&6月 SON・愛知 アスリートと交流

5月に愛知県フロアボール連盟様ご協力の下行ったユニファイドフロアボール体験会には、SON・愛知で活動するアスリートたちが参加。来田ゼミの学生たちはアスリートたちとの初めての交流に最初は少し緊張しながらも、共に活動していくにつれだんだんと緊張が解け、最後は各チームが一丸となって試合に臨みました。

この体験会にはトヨタ自動車の社員の方々や、SONドリームサポーターの小塚崇彦氏にもご参加いただき、最後は中京大学マスコットのチューグルも登場。大盛り上げの表彰式となりました。

6月にはSON・愛知のユニス・ケネディ・シュライバー（EKS）デー※イベントにボランティア参加。3つのチームに分かれ、ボッチャやフロアボール体験を通し、SON・愛知のアスリートたちと交流を深めました。

※SO創設者ユニス・ケネディ・シュライバーの功績を記念してSO第1回国際大会を開催した7月20日に合わせて「知的障害のある人と共にスポーツを楽しむ」活動を各地で展開する日。



ユニファイドフロアボール体験会



EKSデー

参加した学生からの声

障害の有無はスポーツをやる上では関係ないのだと改めて実感することが出来た。

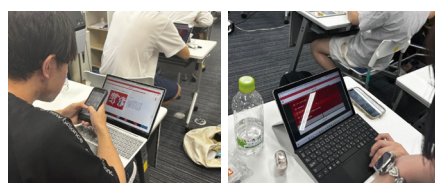
最初は緊張やどうやって接することが正しいのか分からず困惑する部分もあったが、触れ合いの中で壁みたいなものがなくなり、一体感をもって取り組むことができたので、これからの人生に役立つと感じました。



※SOIラーニングポータルは誰でも無料で利用できます。

7月 SOIラーニングポータルで学ぶ

7月の授業では、SOI（スペシャルオリンピックス国際本部）が提供しているオンラインポータルサイトにて、個々が興味を持ったコースを受講し、SOへの理解を深めました。



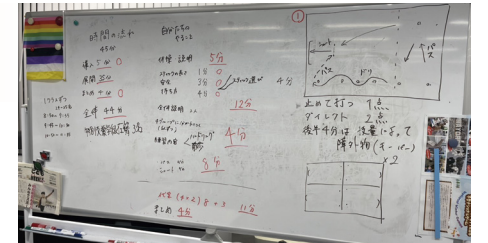
10月 SON・愛知 コーチから学ぶ

大学の夏休みも明け、いよいよ小学校での授業が近づいてきたタイミングで、SON・愛知で長年コーチとして活動されている本多裕氏より、SOでボランティアをすることの意義や魅力についてお話を伺いました。



10月 小学校での授業準備

小学校では、フロアボールの導入の授業と、SOについて学びを深める授業を担当することに。小学校訪問前は、学生同士で夜遅くまで授業の構成について話し合いました。



11月 中京大学子どもスポーツフェスタ

毎年中京大学で行われている「子どもスポーツフェスタ」。来田ゼミは今年、フロアボール体験コーナーを担当しました。

当日は119名もの幅広い年齢層の方々にご参加いただき、フロアボールの体験だけでなく、SOやユニファイドスポーツ®についても知ってもらうことができました。

実際にフロアボール体験コーナーを運営することで、小学校での授業に向けての良い予行練習となりました。たくさんの笑顔が見られ、嬉しかったです。



10月~12月 小学校での授業実施

いよいよ小学校での授業！児童のみんなにとって初めてのフロアボール。運動が得意でもそうでなくても、障害があっても無くても、誰でもフロアボールに取り組める授業となるよう工夫しました。

SOについて学びを深める授業では、学習したことをグループごとにポスターにまとめる活動を行いました。

また、小学校での授業には、トヨタ自動車社員の方々にも見学に来ていただきました。

〈学生が考えた授業実践のテーマ〉

- ▶ SOについての理解を深め、児童自身がルールや場を工夫しながらフロアボールに取り組む。
- ▶ SOの学習を通して、日常生活でもお互いを尊重し合えるような心を育む。



フロアボールの様子



見学の児童にも楽しんでもらえるよう工夫

▶最後の授業では、学生&中京大学マスコットのチューグルによる全員表彰を行った



授業は大成功！誰もが楽しめる授業を行うことができました

» 継続的なユニファイドスクール

〈長野県駒ヶ根市立中沢小学校〉

中沢小学校では3・4年生でユニファイドスクールを実施。4年生は昨年に引き続き、2年連続でのユニファイドスクール参加となりました。



2024年SO日本冬季ナショナルゲームエキシビジョンマツチに参加

4年生から3年生へ伝えるSOの学習

SOについての授業は、昨年度既習済みの4年生が、今年度初めて学ぶ3年生に昨年度学んだことを思い出しながら伝えていく、というような構成で行いました。

4年生はSOのことや、ユニファイドスポーツ®のことを自分の言葉で3年生にしっかりと伝えてくれていました。

発見

授業の途中で、4年生のある児童から、「障害のある人とか、障害者っていう言葉がなんか嫌だな」という発言があり「SOでは、アスリートって呼んでいるけれど、その言葉はどう？」と聞くと、「それはすっごくいい!」と言ってくれたのが、とても印象的でした。



SON・長野 アスリート&ユニファイドパートナーが参加

この授業には特別ゲストとして、SON・長野のユニファイドサッカーチームからアスリートとパートナー*のお二人にご参加いただきました。*知的障害のない人

2023年にドイツ・ベルリンで行われたSO夏季世界大会に出場されたときのことや、ユニファイドスポーツ®の楽しさについてお話してください、世界大会で獲得した金メダルも披露してくださいました。



フロアボール実技

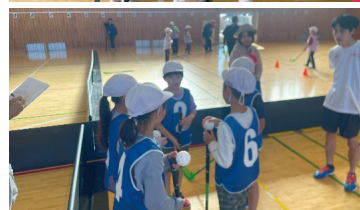
フロアボールの時間には、中沢小学校の校舎内に教室のある、長野県伊那養護学校小学部「はなももの里分教室」の皆さんも参加してくれました。

全体でスティックの持ち方や安全に行うための合言葉を確認した後、クラスごちゃ混ぜの小グループを作り、活動を行いました。

グループ活動のテーマは「みんながボールに触る／打つ練習を考えよう」でした。4年生を中心に、各グループで練習方法を考え、話し合いを重ねたあと、全グループが順番に自分たちの練習を発表しました。発表された練

習には、全員がボールに触られるよう工夫されたシュート練習や、自分で好きなコースを選んで挑戦できるドリブル練習などがあり、どのグループもアイデアにあふれていました。

授業には2025年3月にイタリア・トリノで行われたSO冬季世界大会に、ユニファイドフロアボールチームのメンバーとして出場したアスリートも参加。授業は世界大会前に行われたため、児童たちから激励の言葉をもらったアスリートは、「メダルを獲ってまた中沢小学校に来ます!」と約束をしました。



伝え、
拡がる、
SOの輪

今年度の中沢小学校におけるユニファイドスクールの取り組みでは、4年生から下級生へ、SOやユニファイドスポーツ®について伝える活動を行い、その輪を広げることができました。4年生は、前年度にSOについて学び、フロアボールの実践経験もあったことから、2年目となる今回は、学んだ知識をアウトプットする機会となり、理解がより深まり定着していく様子が見られました。これは、単年ではなく継続的に取り組んできたことによる成果であると実感しています。また、中沢小学校の先生方からは、「今後も毎年3・4年生がSOについて学ぶ流れを継続していきたい」とのお言葉をいただき、今後のさらなる継続的な取り組みによる効果が期待されます。



» SO School Days

〈名寄市立大学SOサークルとの取り組み〉

SO School Daysとは、児童・生徒を対象とした、半日~1日完結型のSO体験イベントです。SOで実施されているいくつかの競技や、知的障害のある人となない人がチームを組んで一緒にスポーツをするユニファイドスポーツ®の体験ができ、最後にはSOの特徴でもある全員表彰を行います。2024年度には、SON・北海道名寄プログラムや名寄市立大学SOサークルと連携し、北海道名寄市でSO School Daysを初めて開催しました。

準備・運営は大学生主体

名寄市立大学SOサークルの学生は、一緒にイベントを盛り上げてくれるボランティアを募るために名寄高校を訪問、説明会を実施しました。

全員表彰で参加者にかけるメダルは、大学生と高校生で一つ一つ手作り。喜んでもらえるといいな、と想いを込めて作りました。



SO School Days当日

当日は名寄市内から13名の児童・生徒が参加してくれました。今回は参加者を、年齢や性別、障害の有無に関係なく3つのグループに分け、それぞれのグループにボランティアの大学生や高校生が付き、3つのスポーツ体験コーナーを回っていく形を取りました。

実施競技は陸上、ボウリング、フロアボールの3競技です。スポーツコーナー担当の大学生・高校生からレクチャーを受けた後は、参加者がそれぞれのスポーツに挑戦。各スポーツの体験を20分ずつとしたため、飽きることなく集中してスポーツを楽しむ様子が見受けられました。

表彰式では、スポーツ体験に参加した全員に、SON・北海道の理事長でSONドリームサポーターの阿部雅司氏よりメダル



表彰式

SO School Daysを
きっかけに
SON・北海道に
入会した
アスリートも!

の授与が行われました。手作りのメダルをもらった参加者は、とても嬉しそうにメダルを見つめていました。最後に参加者に特に楽しかったスポーツを聞いたところ、3競技どのスポーツの名前も挙がり、参加者それぞれがお気に入りのスポーツを見つけている場にもなったようでした。

ボランティア参加した大学生・高校生からの声

最初緊張していた子がどんどんと明るく楽しそうにスポーツをしていて、とても嬉しい気持ちになったことが印象的です!

年齢や障害の有無関係なしにみんなで楽しめることや、大学生の方々が日程調整や私たち高校生の役割など細かく事前に準備しておいてくれたことが印象に残っています。

こういう場面では経験できない体験をさせてもらったなと思うごく貴重な楽しい時間を過ごせました!自分も、体験に来てくれている子もスポーツを通して一緒に成長できる場だなと思いました!

ボランティアと参加者の間で教え合ったり、会話があたりしてSOを知るきっかけとして取り組みやすい企画だと感じ、また、参加者の方が楽しめるように個々の個性に合わせて体験を提供できていたと思います。

イベントの様子



開会式



学生主導による全体ウォーミングアップ



スポーツ体験
(陸上)



スポーツ体験
(ボウリング)



スポーツ体験
(フロアボール)



集合写真

順天堂大学学生プログラム参加

〈SON・千葉との取り組み〉

2023年にSONと協力に関する協定を締結した順天堂大学とは、スポーツ医科学やパラスポーツ、特別支援教育の研究推進の分野等において連携し、様々な取り組みを実施しています。



私たちの活動

ここからは、SON事務局でインターンシップを行っている、順天堂大学大学院の学生2名による記述となります。

きっかけは講演会&フロアボール体験会

順天堂大学スポーツ医学ゼミナールと特別支援教育学ゼミナールの合同ゼミにて、SOに関する講演会とユニファイドスポーツ®の一つであるフロアボール体験会を開催しました。約80名の学生に向けて、前半はSON職員の方がご自身の経験を交えながら、ユニファイドスポーツ®の取り組みや、SOを通じた共生社会実現への期待についてお話しくださいました。この講演を通して、多くの学生が、SONの活動内容や知的障害について知る貴重な機会となりました。

後半は、元フロアボール日本代表でもあるSON職員の方の指導のもと、フロアボール体験会を実施しました。多くの学生にとって初めての経験となったフロアボールですが、互いに声を掛け合いながら全員が積極的にボールを追いかけて、初対面のチームメイトとも楽しくプレーできました。最後のゲームでは多くの笑顔やハイタッチする場面を見ることができました。

講演会とフロアボール体験会を通し、順天堂大学とSONが繋がるきっかけの日となりました。



インターンシップ でのミッション

学生が継続的にSON地区組織のスポーツプログラムに参加するための体系づくり

講演会&フロアボール体験を通してSONの活動に興味を持った学生たちを、SON・千葉（※順天堂大学さくらキャンパスが千葉県にあるため）のスポーツプログラムに繋げるために私たちがまずしたことは、学生への周知と募集です。

順天堂大学には「障がい者スポーツ同好会」という同好会があることを知り、同好会に直接アプローチをかけ、SOの説明会とフロアボール体験会を開催することができました。同好会では日頃から障害者スポーツに取り組んでいます。SOやユニファイドスポーツ®については初めて知る学生も多く、体験会を通じて興味を持ってもらうことができました。

また、順天堂大学蹴球部(サッカー部)では、地域貢献活動の一環として、定期的に「みらたのプロジェクト」を開催しており、地域の子どもたちにサッカーを中心としたスポーツの楽しさを伝えるとともに、SON・千葉のアスリートを同イベントに招待し、交流を深めていました。

障がい者スポーツ同好会や蹴球部と連携を取り、学生たちがSON・千葉の様々なスポーツプログラムへ参加できるよう取り組みをしました。



障がい者スポーツ同好会



蹴球部 みらたのプロジェクト

SON・千葉スポーツプログラムへの参加

ゼミナールでの講演会&フロアボール体験会に参加した学生や、障がい者スポーツ同好会、また蹴球部の学生たちの中から有志を募り、SON・千葉が実施しているスポーツプログラムに学生を繋げることができました。SON・千葉事務局と連携を取り、これまでにフロアボール、バスケットボール、サッカープログラムに学生が参加しています。各プログラムでは、ウォーミングアップからゲームまで、アスリートが日頃取り組んでいる練習に共に取り組み、楽しみながら交流を深めました。日常プログラムへの参加は、知的障害への理解を深めるとともに、多様な人々と繋がることのできるユニファイドスポーツ®の素晴らしさを実感する機会となっています。

参加した学生の声

アスリート一人一人が大きく異なる特徴を持っているため、彼らとともにスポーツをすることで、それまでにない多くの発見をすることができました。

障害の有無関係なく、スポーツを通して通じ合えるのはとても良いことだと思いました。

はじめは知的障害者にマイナスなイメージを持ってしまっていたのですが、実際に参加してみると障害を感じさせない場面が多くありました。



インターンシップを体験して

関屋裕太 ▶▶▶



インターンシップでは、主に学生に対するスポーツプログラムの案内と募集、SON・千葉の方とのメールでのやり取り、事務局での事務作業等を行いました。正直、インターンシップをする前までSOに関する知識は全くと言っていいほどありませんでしたが、業務を行う中で障害の有無にかかわらずスポーツを通じて楽しさや喜びを分かち合うことができるSOの活動の良さを感じました。

インターンシップでは、主に学校連携業務、学生に対するスポーツプログラムの案内と募集、事務局での事務作業等を行いました。大学の先生方からSOについて教えていただき、インターン生として様々な業務をしていく中で、アスリートやファミリーなど多くの方々と関わるすることができました。障害の有無にかかわらず誰もが「ともに」スポーツを楽しむことのできる環境の大切さを学ぶことができ、この経験を自らの将来につなげていける活動ができました。



◀◀◀ 宮下央汰

2024年度ユニファイドスクール 小学校協力校一覧

(内、特別支援学級在籍)

学校名	学年	人数
駒ヶ根市立中沢小学校	3 学年	11名
	4 学年	11名
	はなものの里 分教室 (フロアボールのみ)	10名
豊田市立冷田小学校	3 学年	5名
	1～2、4～6学年 (フロアボールのみ)	35名(1名)
豊田市立根川小学校	4 学年	76名(3名)
	5 学年	74名(2名)
	6 学年	87名(1名)
豊田市立野見小学校	4 学年	60名(4名)

合計: **369**名の児童が参加

協力団体・企業

※順不同

中京大学
順天堂大学
豊田市スポーツ振興課
トヨタ自動車株式会社
公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・長野
公益社団法人スペシャルオリンピックス日本・愛知
スペシャルオリンピックス日本・千葉
NPO 法人スペシャルオリンピックス日本・北海道
名古屋市立大学SOサークル
愛知県フロアボール連盟

【2024年度】 ユニファイドスクール 事業報告書

初 版 発 行 2025年6月

編 集 スペシャルオリンピックス日本事務局

発 行 公益財団法人スペシャルオリンピックス日本
〒105-0003 東京都港区西新橋2丁目22番1号7階
[TEL] 03-6809-2034 [FAX] 03-3436-3666

ホームページ [URL] <https://www.son.or.jp>

デ ザ イ ン 藤本麻衣



本冊子の文章、写真、図版の無断転載、複製、改変等いかなる場合も禁止します。



Special Olympics
Unified Schools